

事後評価書

箇所名	一般国道260号		事業名	道路事業	課名	道路建設課
事業概要	工期 (下段前回)	全体：H16年度～H27年度	全体事業費 (下段前回)	全体：2,249百万円 (負担率：国5.5：県4.5)		
		全体：H16年度～H27年度		全体：2,249百万円 (負担率：国5.5：県4.5)		
事業目的及び内容		<p>■当該路線の状況</p> <p>一般国道260号は、志摩市阿児町から北牟婁郡紀北町に至る延長約122kmの路線であり、伊勢志摩地方生活圏の熊野灘沿いを連絡する唯一の路線で、地域の生活道路となっています。</p> <p>さらに、一般国道260号は、第1次・第2次緊急輸送道路に接続する第3次緊急輸送道路に指定されています。</p> <p>本事業区間である木谷拡幅は、南に位置する宿浦や田曾浦の住民が北に位置する五ヶ所浦や船越地区にある病院や町役場、スーパー、中学校や高校などの施設へ行くために利用されており、生活に欠かせない路線ですが、現道区間は道幅が狭く、急勾配・急カーブが連続しているため、安全な通行に支障をきたしている状況でした。</p> <p>また、当区間は第3次緊急輸送道路ですが、道路構造が厳しいが故に、バス交通や救急搬送車両は本事業区間を迂回している状況にありました。</p> <p>■事業の目的</p> <p>①安全で円滑な交通の確保</p> <p>②緊急輸送道路としての機能強化</p> <p>■事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画期間：12年間(平成16年度～平成27年度) ・全体事業費：2,249百万円(工事費：2,119百万円, 用地費：130百万円) ・計画延長：L=1,27km(起点)度会郡南伊勢町木谷～(終点)度会郡南伊勢町木谷 ・幅員：W=6.00(9.75)m 				

1・事業の効果

1-1 費用対効果分析
◆費用便益分析結果

区分		前回 (基準年：H25)	今回評価時 (基準年：R2)	備考
費用	事業費	23.8億円	33.6億円	
	維持管理費	0.5億円	0.6億円	平均単価の見直し
	合計	24.3億円	34.2億円	
効果	走行時間短縮便益	23.0億円	45.3億円	マニュアルの変更
	走行経費減少便益	1.9億円	5.1億円	同上
	交通事故減少便益	0.6億円	0.3億円	同上
	合計	25.5億円	50.7億円	
費用便益分析結果(B/C)		1.1	1.5	

※出典：費用便益分析マニュアル(平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)

1-2 費用対効果の検証

◆走行時間短縮効果の検証

当該事業により、木谷拡幅区間の走行時間が約4分短縮しました。
(開通前6分 → 開通後2分)
(距離：開通前1.6km → 開通後1.3km)

◆走行経費減少効果の検証

当該事業により、現道利用時に比べ拡幅区間の旅行速度が改善され、走行経費が減少しました。
(開通前20.3km/h → 開通後47.3km/h) ※上下線の平均旅行速度
(距離：開通前1.6km → 開通後1.3km)

◆交通事故減少効果の検証

現道区間では、開通前の平成8年～平成27年の19年間で3件の車両相互事故が発生していましたが、本事業区間開通後の平成28年～令和元年の4年間では車両相互事故が解消しました。

1-3 その他の効果

◆緊急輸送道路としての機能強化

当該事業により、2車線区間が確保されたことで雨による事前通行規制区間から除外されました。これにより、緊急輸送道路としての機能強化が図られました。

◆救急搬送時間短縮効果

志摩広域消防組合から、木谷拡幅の整備により、救急搬送経路を拡幅区間経由に変更したことで、救急搬送時間が約7分短縮(約25分→約18分)し、救命率の向上に繋がっている。また、線形が良好となり、患者及び救急隊員の負担軽減になったとの声を頂いています。

◆通学時間短縮効果(宿浦～南勢中学校)

南勢中学校から、木谷拡幅の整備により、南伊勢町の町営バスルートが拡幅区間経由に変更されたことで、通学時間が約20分短縮され約30分で通学できるようになったとの声を頂いています。

◆新たな企業の進出

木谷拡幅の整備により、田曾浦に観光施設を移転した観光事業者もおり、新たな企業新進出に貢献するとともに、観光施設利用者からも非常に近く快適に來れるようになったとの声を頂いています。

2・事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化

当該事業区間が、伊勢志摩国立公園内を通過するため、切土法面では在来種を使用して積極的に緑化し、環境の変化が少なくなるようにするとともに、防草対策として実施した法尻のコンクリート吹付けや長大法面の法枠も景観に配慮してコンクリートを茶色で着色しています。

3・事業を巡る社会経済情勢等の変化

平成17年に旧南勢町の中学校3校が南勢中学校に統廃合され、宿浦・田曾浦の中学生は船越にある南勢中学校まで通学しています。

また、平成26年度には、小学校3校が南勢小学校(旧五ヶ所小学校)に統廃合されたため、バスでの通学が必要となりましたが、路線バスやスクールバスは志摩市へ迂回している状況にありました。しかし、本事業区間の開通で、路線バスやスクールバスの迂回の必要性が解消され、五ヶ所方面への円滑な移動や利便性が格段に向上しました。

4・県民の意見

一般国道260号木谷工区周辺の下津浦・木谷・宿浦地区をはじめ11の地区に住民へアンケートを配布するとともに、道路利用者に対してWEBアンケートを実施しました。住民アンケートは、1,030通のご回答をいただきました。WEBアンケートにおいては、300名の方からご回答をいただきました。地域住民の約88%、道路利用者WEBアンケート(三重県在住)では約61%が満足と回答しています。

また、利便性向上・交通安全・救急活動等の視点から、関係機関へのヒアリングを実施しました。

満足と感ずること

【地域住民アンケート】

- ・車道が広くなり、対向車とのすれ違いの際の危険がなくなり、安全で快適な走行が可能になった。
- ・宿浦、田曾浦、浜島町(南張)への時間短縮が可能になり便利になった。
- ・歩道が広くなり、安心して歩くことができるようになった。
- ・距離が短縮され到着時間が早くなり、ガソリン消費量が少なくなった。
- ・以前の狭い国道に比べたら雲泥の差、主にトラック(2t～4t)での通行なので大いに助かっています。

【道路利用者WEBアンケート】

- ・狭い道が広くなり、安全で快適な道路になった。
- ・拡幅され自動車の対向がスムーズになった。

不満と感ずること

【住民・WEBアンケート】

- ・道路まで延びている草木を切ってほしい。
- ・国道260号は暗いため、照明や反射板等で走りやすくしてほしい。
- ・スピードを出す車がいるため、注意喚起の設置や路面の工夫をしてほしい。

関係機関の意見

- ・本事業区間の開通により、搬送時間が約7分短縮し、救命率向上に繋がっています。また、木谷からの搬送についても線形が良くなり患者及び救急隊員への揺れによる負担が軽減しました。(志摩広域消防組合)
- ・整備前は線形不良のためバスの通行が不可能であり、浜島町内を経由していました。本事業区間の開通により、迂回の必要がなくなり通学時間が約20分短縮しました。また、歩道が整備されたことで、木谷バス停まで安全に行くことができるようになりました。(南勢中学校)
- ・本事業区間を利用することで、出荷先まで約10～15分所要時間が短縮しました。また、通勤時間も短縮しました。(宿田曾漁業協同組合)
- ・本事業区間が開通し、アクセスが良くなったため、観光施設をこの最適な地に立地することにしました。お客様からは、「今までは田曾浦に来るには志摩市を経由しなければいけない遠いところだと思っていたが、本事業区間が開通したことに伴い非常に近く快適に来ることのできる場所となったと実感している。」という声を聞いています。(南伊勢町内観光事業者)

5・再評価の経緯

平成25年度の再評価においては、事業継続の妥当性が認められたことから、事業継続を了承されています。

6・今後の課題等

①草木の伐採

→対応方針：草木により車両への通行支障が生じないように定期的に道路巡視を行い、適宜対応を図る。

②スピード超過車両への対応

→対応方針：スピード超過等の法令違反車両の抑制について、警察と調整しつつ注意喚起を促していく。

※再評価実施事業は(下段前回)とし、前回再評価時の内容を記載する。未実施の場合は(下段当初)とし、当初計画時の内容を記載する。